

広報

なかつえ



もうすぐ運動会

(鯛生小学校にて)

〈人口と世帯〉

8月末現在
 ()内は前月比
 人口 1,928人(- 4)
 男 948人(- 3)
 女 980人(- 1)
 世帯数 565戸(+ 2)

〈行事〉

〈9月〉

20日 動物愛護週間(～26日)
 21日 秋の全国交通安全運動(～30日)
 環境衛生週間(～27日)
 23日 秋分の日
 24日 結核予防週間(～30日)
 25日 小学校運動会

〈10月〉

1日 体力づくり強調月間
 9日 中津江村体育祭
 10日 体育の日

83/

9月号

No.233

ホームヘルパーをたずねて

おじいちゃん
おばあちゃん

ですか

みなさんはホームヘルパー（家庭奉仕員）という言葉をご存知ですか。お年寄り、身障者の方が日常生活を営むのに、どうしても支障がある場合、もっと健全で安らかな生活ができるよう手助けをする方です。

ふえつづける

高齢者世帯

長野県で端を発したこのホームヘルパー派遣事業。今ではほとんどの市町村で多くの老人、身障者、またその家庭にとって必要不可欠からざる制度となっており、在宅者福祉対策の柱とまでいわれています。なぜ、この事業がそうま

族主義は核家族が進み、家庭における老人の地位や役割にも大きく変化が生じた。このような状態になると、必然的に高齢者の世帯や独居の老人家庭が多くなり、また更に日常の生活に障害をもつ家庭もふえてくる。このような現状の中、このホームヘルパー派遣制度事業は生まれてきたのです。

福祉、社会福祉という言葉が叫ばれはじめたころ、まず経済的な問題、貧困を福祉対象とした策がうちだされました。たとえば生活保護という現金の給付、そして、それに対応できない場合は社会的な施設に入所させるというように、最低限度の生活を保障するとい

った方策で対処されてきました。いわゆるこの福祉事業は、施設福祉事業からスタートしたのです。ところが、福祉の焦点が経済問題から非経済問題へと移り、在宅の福祉対象者及び家族介護者に対する、いろいろな施策が講じられてきました。となると福祉とは、経済的条件にかかわらず、す

べての人が対象者となり、必要とするものとして重要性を一層増してきたのです。施設福祉、在宅福祉、この両者の関係は非常にむずかしいものの、誰でも喜んで施設に入る人はいません。理想的にいうと、在宅での福祉サービス体制を確立することであり、なおかつ対象者の福祉が確保できなくなり、在宅福祉が困難となったそのとき、施設福祉に

身のまわりの世話から 相談相手まで

話を元に返して、このホームヘルパー派遣制度が必要となった原因として、前述のように人口の高齢化があげられます。わが国のお年寄り（六十五歳以上）は総人口の約九パーセントを占め、今後ますます増えたと予想されています。そして本村では、すでに十九パーセントの方が六十五歳に達しています。（昭和五

健康だけは注意！！
本当に助かります

血圧だけが心配です。今年の7月からお願いしているんですが、血圧をはかってもらったりしています。突然何かあったら困るものですから、健康には注意しています。その点からは安心させられ助かります。本当に感謝しています。

高田 孝さん（小平田）





元気

十五年国勢調査結果)つまり、五人に一人の割合となつているのです。これらをつまふまえ、このホームヘルパー派遣制度は、今後も更に大きな期待がかけられることになりそうです。

本村のホームヘルパーは猪野タツ子さん(丸蔵)、安岡節子さん(栃原)のお

二人、ともに昭和五十五年からこの仕事に従事しています。それでは実際、ホームヘルパーとはどんな仕事をするのか――

身体上、または精神上の障害があつて、日常生活を営むのに支障がある老人の家庭に対して、食事、洗たく、掃除など、身の回りのお世話をします。とはいってもこれら全般をおこなうのではなく、その家庭の事情に適した世話をします。

また話し相手、相談相手としても、その職務の重大さがうかがわれます。それぞれの家庭に向き、家事、介護をするだけでなく、話し相手となり、助言をしたり、そして解決の方向へと導いていく。実質、話し相手、相談相手としての役割は「生活に活力を生む」という意味で、非常に大きな意義をもつものであり、真に求められるホームヘルパーではないでしょうか。

このことをヘルパーの二人に聞いてみると、「食事、掃除の世話、家事、介護も大切です。でも黙ってこれらをしてしまつては何もな

りません。いろいろとやる中で、会話を交わすことによつて相手からも信頼されるし、求められます。そうすることで、より親密になれるし、互いに打ち明け話もできます」。ほかに心がけることがありますか、とたずねると、「自分たちが健康でなければなりません。もちろん重いものを持つたりすることもあるし、健康でなければ、相手に安心感を与えることができません。また親密の中にも礼儀をもつて接することも大切です。それに約束、他のことは忘れても約束したことは決して忘れないようにしています」と。

いつでも

対応できる

運営システム

この制度、まだまだいろいろな問題もあります。サービス体制、費用負担制、ヘルパーの資質向上等。この中でサービス体制の現状を考えると、現在職務の時間が限られていることがあ

(次項へ続く)



清原トヨノさん(鯛生)

娘んごつ思っています。遠慮もなく何でもお願いできます。甘えないようにしているつもりですけど、つつい。

娘もそれに笑ってくれたり、時には怒ったりもしてくれます。来てくれる日は、朝から待ちこがれているんです。

ムスメのように

思っていますよ

げられます。対象者の方からみると、夜間におけるサービス体制も必要です。型にはめ込んだシステムから、夜間を含め、いつでも対応できる柔軟な運営システムへの方向転換。すでに一部の市町村でおこなっているパート制も考えられるし、より多くの人が快適な生活を続けていきたいと願うならば、まだまだ人材が不足する可能性があります。しかし、この制度の利用範囲が拡大したとき、次には利用者の費用負担を考えなければなりません。「福祉にも金がいるのか」の声が聞かれるような気がしますが、近い将来、検討すべき問題であるし、最大の効果をあげるために最少の投資により、また体制も考えなければならぬかもしれません。

明るい

老後のために

人の一生にはさまざまな起伏があります。個人の努力、家族、親戚の助け合いだけでは生活上の困難は乗り越えられないときもあり

ます。こんなとき社会全体の助け合いがぜひとも必要です。この仕組みを社会保障といえます。社会福祉は、この社会保障の一環となるものです。

今後、日本の人口構造が急速に高齢化していくことに備え、将来の日本の社会の在り方をめぐって、各方面で論議が盛んです。その多くは、高齢化社会という点で一步先んじている欧米諸国の姿を、良いにしろ悪いにしろ参考としながら、将来の姿を模索していると言えそうです。そして欧米社会を参考としながら、一方で日本の良さを最大限に生かしていこうというのが、よく言われた「日本型福祉社会」の基本的な考え方なのです。

総理府の調査をみても、老後生活で重要なのは、一位は当然のことながら「健康」をあげていますが、その次には「配偶者や子供など家族とのつながり」を大事だとする人が多くなっています。このことは、生計の安定や仕事に就くことより「家族」を重視している

という意味から、日本型福祉社会を考えるうえで象徴的な事柄だと言えます。

このような家族重視は、小さいころから家庭内での自立を強調するしつけがなされ、家族よりも個人の生活が尊重される傾向の強い欧米の社会とは、きわめて対照的です。

日本の場合、最近では欧米化しつつあるとはいっても、やはり家族を重視する人が多く、家庭では親子、孫、兄弟どうしなど家族がいたわり合い、理解し合っているといきたいと願う傾向が強くあります。年をとつたら子供と同居したいという人が多いのも、そうした背景があるからといえます。

わが国の社会福祉施策は高い水準にも達しているといわれます。しかし、複雑かつ多様化する福祉に対応するためには、常に新たな発展の方向へ検討を加え、社会福祉を行政だけのものとしてでなく、それぞれの人が、組織が連帯意識で推進していくことが、これからの福祉の強力な策ではないでしょうか。

長寿おめでとうございます

〈長寿番付〉 敬称略

(東)		(西)	
矢野キサヲ (川辺) 92	横 綱	隈 カツノ (市ノ瀬) 91	
原部 ミナ (原部) 91	大 関	魚形 トラ (栃原) 91	
栗原 寿市 (黒谷) 90	関 脇	石貫 竜市 (川辺) 90	
長谷部キク (鯛生) 89	小 結	森脇千代一 (池田) 89	
大賀 リエ (高迫) 89	前頭 1	清水 壹作 (黒谷) 89	
猪野 司 (丸蔵) 88	2	高木トシノ (栃原) 88	
川野 顕義 (野田) 88	3	合谷 ミカ (八所) 88	
石貫ミキヨ (田ノ原) 87	4	清水 ツ子 (黒谷) 87	
栗原 シヅ (田ノ原) 87	5	猪野 到 (丸蔵) 87	
猪野サダヨ (丸蔵) 87	6	川原 穂義 (小園) 86	
高木 元雄 (すだれ) 86	7	田島 常次 (鯛生) 86	
清水 ウラ (八所) 86	8	栗原 ナツ (吉原) 86	
津江 サメ (二又) 86	9	猪野イソノ (丸蔵) 86	

年齢は9月15日現在

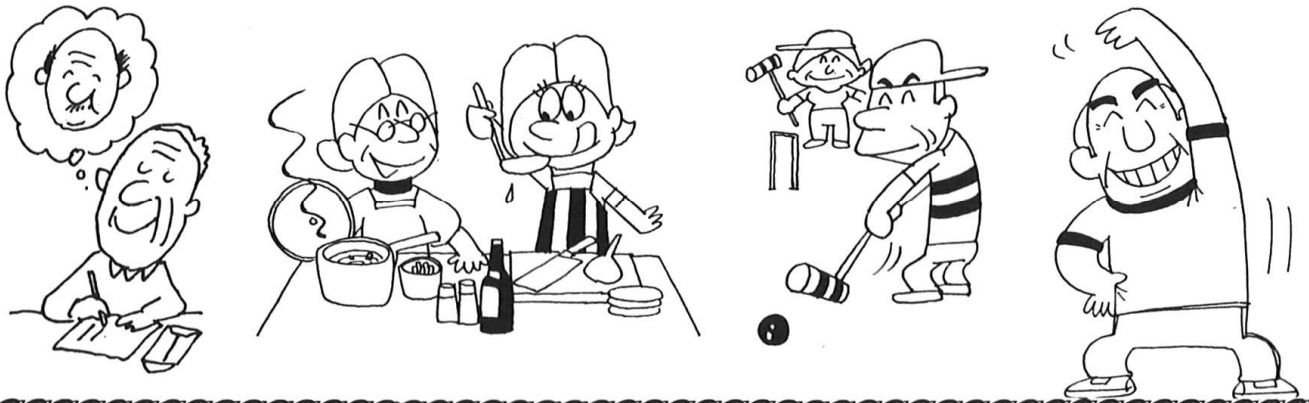
祝敬老の日

今年も9月21日から30日までの10日間、秋の全国交通安全運動が繰りひろげられます。

死亡事故の内容を見ると、相変わらず子供とお年寄りが多く、道路交通の上で「弱い立場」にある人々の犠牲が目立っています。こうした死亡事故の原因をドライバーの側から見ると、スピード違反をトップに、わき見運転、酒酔い運転と続き、ここ数年この傾向はまったく変わっていません。このようなスピードの慣れや、ちょっとした油断など、ドライバーとしての基本を実践してこそ、「事故のない明るい社会」への第一歩といえるでしょう。

お年寄りとお年寄りと子供を守ろう

秋の全国交通安全運動



お年寄りと心の健康

老年期というのは、先がだんだん細くなっている丸太の橋を渡っているようなもの——人生の円熟期でありながら、青・壮年期に獲得したものが次々に失われていく、そんな心細さに直面しながら生きていくのが、多くのお年寄りの偽らざる心境といえます。

老年期の「損失体験」にはいろいろありますが、一般的には次のようなケースが考えられます。

- ① 身体および精神の健康を損なう
 - ② 経済的な自立基盤を失う
 - ③ 家族や社会とのつながりを失ったり、希薄になる
 - ④ 生きる目的を失う
- こうした損失体験は、お年寄りに限らず、若い世代にもみられますが、老年期の特徴は、二つ以上の損失体験が複合して起こることです。
- 例えば、定年で退職すると、経済的な自立が損なわれると同時に、社会とのつながりを

失ったり、ときには生きる目的すら見失うことがあります。

損失体験による不安はさまざまな症状を招く

老年期の「複合性損失」は大きなストレスとなってお年寄りを圧迫します。「うつ状

不安・心細さと「同居」の毎日

聖マリアンナ医科大学
神経精神科教授 長谷川和夫

態”になる人が多いのは、そのためです。また、損失体験による不安が高じて被害妄想に陥ることもあります。

さらに、損失体験は、新しい状況に対する反応、適応力を鈍らせます。そのため、身の周りの状況の変化そのものに恐怖心を抱くようになり、その結果、自分の身を守るために自己中心的な傾向が強くなってしまいます。お年寄り

が得てして頑固なのは、このためです。

心の重荷を取り除いてあげる心くばりを

うつ状態、被害妄想、自己中心的な考え方は、損失体験がもたらす、お年寄りに顕著な心理状態です。しかし、一時は悲嘆にくれることがあっても、長い人生経験で培ってきた適応能力が、そうした精神的な打撃を克服してしまうの

にたい」といった言葉を、お年寄りは口にすることがあります。しかし、言葉どおりには受けとらないでください。「より良く生きたい」という切実な気持ちの裏返し表現であることが多いのです。

つまり、損失体験からくる不安に心を痛めながらも、一方では、状況の変化に適応しようと努力しているのです。そうした複雑な心理が逆の言い回しになって出てしまう、といつてよいでしょう。

お年寄りの不安定な心理状態を理解し、心の重荷を取り除いてあげることこそ、お年寄りと上手に付き合うための第一歩であり、わたしたち周囲の者の責任であるといえましょう。

が普通です。とはいえ「早くポツタリ死



もつと健康で明るい生活に

老人福祉センターが来年完成

来年三月、栃原に老人福祉センターが完成します。この福祉センターは、中津江村と上津江村の共同運営によるもので、県下でも十二番目の施設として建設されるものです。

上、中津江村には、六十歳以上の老人が六百八十五人（四月一日現在）います。これは県下の他市町村に比べてみると、もつとも高い位置にあります。このため、老人福祉に関する諸施策は、重要な施策の一項目として考えられています。国においては、老人に対する年金の拡充、福祉施設の整備など除々におこなわれていますが、まだまだ十分とはいえない状態です。特に

日田郡内においては、福祉施設の整備は十分ではありません。こうした状態にある本村において、むらづくり計画を策定する際、主要施策の一つに「栃原地域福祉レクリエーション基地づくり」をあげています。

①老人福祉センターの建設を中心、②軽作業所の設置 ③遊歩道の整備 ④児童公園の整備 ⑤温泉を利用した福祉浴場の設置、また、スポーツレクリエーション施設の整備として、運動広場、ゲートボール場の整備など、地域住民の憩いの場として、さらに健康増進のためにも大いに利用していただけるような基地づくりが計画されました。これらの一部の施設については、すでに完成し利用されていることはご承知のとおりです。しかし、その中心となるべき老人福祉センターが整備されなければ、利用も半減します。しかし、この福祉センター建設には多額の費用がかかります。村としては、この計画が策定された当時から国、県に対して補助金の要望を続け

てきましたが、ようやく本年六月に補助金の交付が内定し、早速建設準備にかかることになりました。

一般の人にも利用できます

「地域老人に対し各種の相談に応ずるとともに、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与し、もつと健康で明るい生活を営ませることを目的とする」

それでは建物の概要をのぞいてみます。総面積七百六十一平方メートル、鉄筋コンクリート造二階建、総事業費が一億三千二百九十八万円（予算）、このうち県補助金三千八百十八万円、残

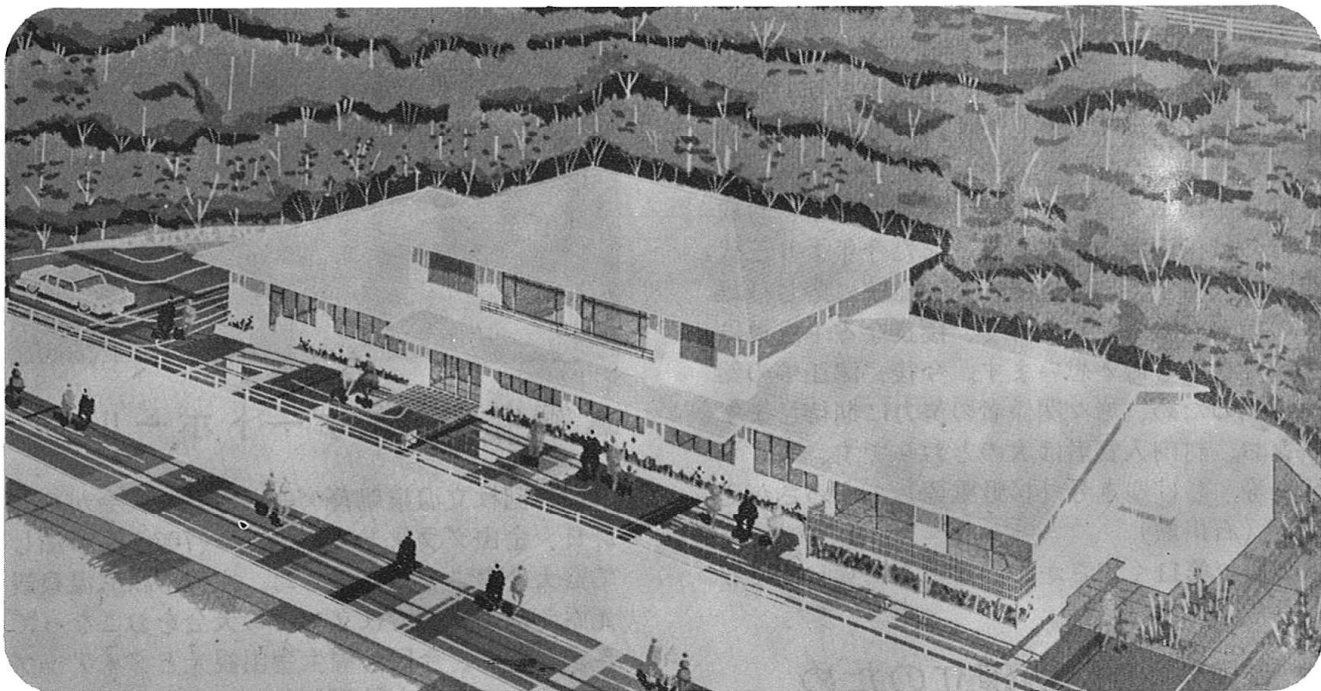


りを中津江村と上津江村で負担することになります。建物の内容は、

（一階）

- 事務室兼所長室
- 生活相談室 老人の生活上等に関する相談、指導をおこなう
- 健康相談室 老人の疾病の予防、治療に関する相談指導をおこなう
- 図書室 図書を備え、自由に読書できる和室
- 娯楽室 囲碁、将棋等の

老人福祉センター完成予想図



娯楽用品を備える和室
 ○機能回復訓練室 老人の後退機能の回復訓練のため機具を備えている

○温泉浴場 四十度の温泉水を利用した浴場が、男子用と女子用に区別されており、一度に十数名が入湯できます。冬期になると、少し温度を上昇させるためポイラーによる加温をします。温泉は、動脈硬化症、きりきず、やけど、慢性皮膚病、神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、うちみなどに適応症があるほか、飲用としても慢性的胆のう炎、胆石症、便秘、肥満症、糖尿病、痛風によいとされています。

(二階)
 二階は会議室で、畳が八十枚程敷かれる広間にステージが付いていますので、大人数での会議、宴会などに利用できます。

以上の設備のほか、この施設の特徴として床暖房が取り入れられています。これは床下コンクリートの中に特殊な配管をし、温水を通すことにより温水熱で室内の温度を高めるので、ポ

カポカとした気持ちのよい暖房となります。この設備を事務室、会議室、廊下、便所などに配管しますので、特に老人の方の利用については喜ばれると思います。利用については、高齢者のみに限らず、一般の方の利用も大いに期待しています。

センターの前にはゲートボール場があり、二コートがすでに整備されていますので、練習、試合などで楽しんで、福祉センターで入湯し、汗を流した後は、娯楽室で将棋、読書などでゆっくり休憩するのも健康保持のためによいと思います。

上津江村と 共同で運営を

この老人福祉センターを建設することについては、中津江村だけの施設とするだけでなく、上津江村を含めた広範囲のものととして建設、運営することが望ましいものとして、昨年以來、両村との間で共同運営とする話し合いを続けてきまし

た。
 共同運営をおこなうには、地方自治法に定められている一部事務組合の設置が必要ですので、昭和二十八年以來続けてきた「上津江村中津江村中学校組合」を、「上、中津江村行政組合」という名称に変更し、中学校教育に関する業務と、老人福祉センターの運営に関する業務をおこなうこととなります。

老人福祉センターは去る八月十九日、栃原の現地で起工式がおこなわれ、来年の二月十五日までに完成する予定となっています。完成後の運営方法については、今後両村の関係者と十分な協議をおこない、住民のみなさんが気軽に利用できるようにしなければなりませんし、また忙しい毎日の中の生活のやすらぎ、健康増進のため役立てなければなりません。
 建設期間中は、栃原地域の方をはじめ、みなさん方には特に工事用の車の出入りなど迷惑をかけることと、思いですが、よろしくご協力をお願いいたします。

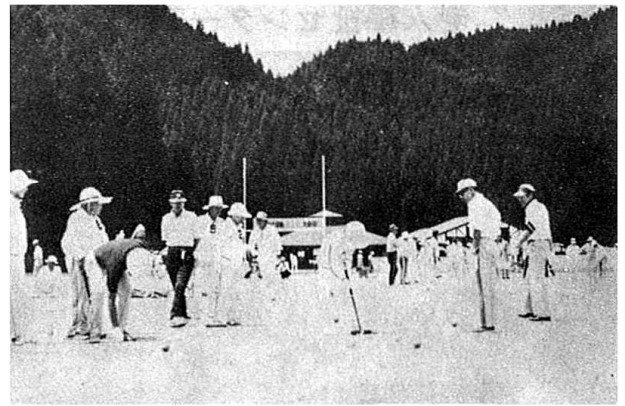
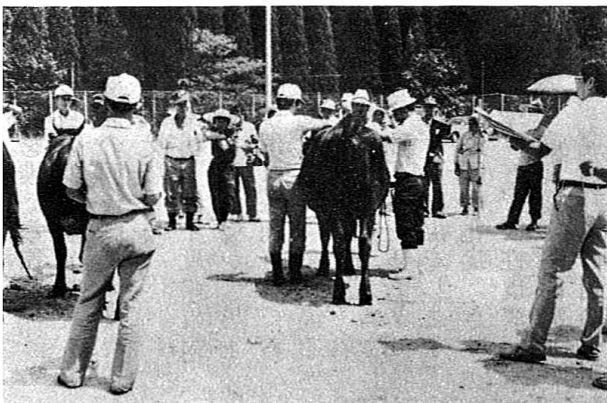
8月22日、上津江中学校で畜産品評会がおこなわれました。今回は津江農協合併後2回目で、中津江13頭、上津江村30頭の出品があり、日頃より手塩にかけ手入れしたすばらしい牛の品評会となりました。

津江牛は年々資質、肉質、発育の向上、育成飼育の技術の向上が見られ、また今年より三代祖、五代祖までの調査により、血統に応じ種雄牛の指定をおこなったので、優良なる牛を更に生産できるものと思います。今後、津江牛の銘柄確立のため、増々関係者の努力に期待します。

なお、村内入賞者は次のとおりです。

- ・ 1等 しげゆき号(杉野重徳)・うめさかえ62号(石川勲)
- ・ 2等 第11くすさかえ号(岩釣正登)・てるひさ号(武原良雄)

▼津江牛の銘柄確立のため



▲鯛生金山とゲートボール

第17回杖立温泉親善ゲートボール大会が7月27日、金山グラウンドで92チーム、700人が参加して盛大におこなわれました。主催の杖立温泉観光協会はこれまで杖立でこの大会をおこなってきましたが、今回は鯛生金山観光とタイアップさせ、この大会を計画したということです。

鯛生金山と組み合わせた、ということで参加者も福岡、熊本、大分、佐賀からこれまで最高の700人にのぼり、村内からも野田、川辺、丸蔵、鯛生から各2チームが参加、鯛生チームの斉藤真二郎さんが選手を代表して宣誓、12面のコートを使って試合がはじまりました。

参加者はプレーのあいまに坑内の見学をしたり、レストハウスや農協売店で買物を楽しみ、評判も上々で、金山観光とゲートボール大会は大成功でした。

◆津江農協職員を募集します

津江農協では、昭和五十九年度の職員採用試験を次のとおりおこないます。

- (1) 受験資格 高等学校、または大学の卒業者、並びに五十九年三月に卒業見込みの者で十八歳から二十五歳未満の者。
- (2) 採用予定人員 高校卒は三名程度、大学卒は一名ないし二名。
- (3) 願書受付期間 高校卒は九月二十一日から九月二十六日まで、大学卒は十月十五日から十月二十二日まで。
- (4) 試験日時 高校卒は十月七日、日田市で、大学卒は十一月七日、大分市で。
- (5) 必要書類 願書、履歴書、写真二枚、卒業証明書、成績証明書、ただし新規高校卒者は、各高等学校備え付けの統一書類とする。

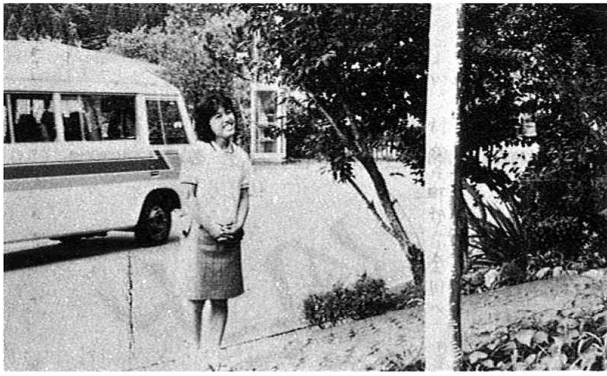
詳しくは津江農協本所金融管理課にお問い合わせください。

◆郵便小包料金の改正について

九月一日から郵便小包料金が改正され、大変お得になりました。今まで一キ、六キまで料金をわけていましたが、料金の改正により二キ、毎に六キまでと三段階になり経済的になりました。新料金は表のとおりです。

区 分	2kgまで	4kgまで	6kgまで	
第一地帯	市内	400円	520円	640円
	その他	500円	660円	820円
第二地帯		650円	810円	970円
第三地帯		800円	960円	1,120円

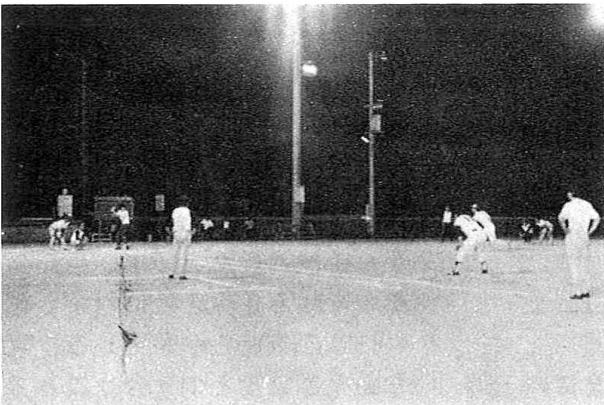
●「地帯」の区分は郵便局で。



▲ 白い標柱に願う

もうごらんになりましたか。道路のところどころに白い標柱。これは生徒指導委員会が中心となり、「自分たちの村は、自分たちの手で明るく美しい村にしよう」ということで、あいさつ、美化運動の標柱づくりに取り組みました。

材料の準備から立てるまでそれぞれに分担し、児童・生徒と父兄の共同作業で作製したわけです。材料は本村の風景に合うようにと杉丸太を利用し、標柱の言葉も児童・生徒が考えて書きました。標柱の言葉をかみしめるためにも、たまにはゆっくりながめてください。



▲ コンサートに1,200人

'83なかつえ・ミュージック・コンサートが8月14日、栃原グランドでおこなわれました。

今年で4回目をむかえたこのコンサート、今ではすっかり夏の1日の恒例行事となっており、評判もうなぎのぼり。今回は午前10時から午後10時までの12時間、およそ1,200人の若者が音楽、熱気を求め、それぞれに満喫していた様子。

主催した青年団は、3ヶ月前前からこのコンサートの準備に大忙し、エネルギーのつづく限りまた来年、若者の夏は熱い夏に。

◀ ナイターリーグソフト大会

第4回ナイターリーグソフトボール大会が8月1日から22日にかけて熱戦、12チームによって優勝が争われ、結局優勝は丸蔵ロック、2位は野田上、3位には栃原がはいりました。

また女子ソフトボール大会も7月18日から29日にかけておこなわれましたが、栃原、鯛生、丸蔵が同率となり、抽選の結果、栃原チームが優勝しました。



◆ 豊の国物産フェアを開催

県商工会連合会、県下各商工会では、商工会地域の産業の発展や、商工業振興策の一環として、十一月五日・六日の両日、宇佐神宮で「第一回豊の国物産フェア」を開催します。

一村一品運動により、地域の新しい顔となる産品づくりが各地ですすんでいます。優れた産品でありながら、地元ですら知られていないものが多くあります。そこで県下の各物産を一同に集め、新たな地域振興の方策を探ろうとするものです。当日はメインテーマである「一村一品縁日万博」にふさわしく、各種の露店が並ぶお楽しみコーナーのほか、民芸品の製作実演、地酒試飲コーナー、一村一謡、一芸などの郷土芸能の披露があるほか、まだまだ盛りだくさんの楽しい催しものが予定されています。

十一月五・六日はどうぞ宇佐神宮へ。

◆ 西海道談綺がいよいよ登場

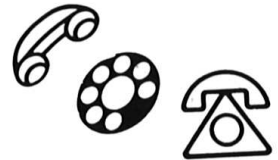
「西海道談綺」がいよいよ、テレビ界初の三時間時代劇として、放映が決定された。鯛生金山でのロケにも、松平健、古手川祐子などの豪華キャストが訪れ賑わいを見せたが、中津江村始まって以来のことだけにかかなりの反響を呼びそう。放送は、左記のとおりです。

。フジテレビ系：九月三十日（金）夜八時から。TOSテレビ大分：十月九日（日）昼一時十五分から。

奥さん お番です



堤
永瀬美津子さん



Q 生年月日、出身地を。
A 昭和二十二年十二月十五日生まれで、
田市高瀬の出身です。お見合いで結婚しまし
たが、なにもわからずに来たみたいですね。

Q 趣味は？

A 特にありません。しいて言えば、編み物
でしょうか。金山直売所に勤める前まで少
は編み物をやっていたんですが、勤め始めてや
っていません。別に忙しいというわけじゃあ
りませんけど。

Q ご主人の性格、自分の性格を。

A うちの人は、気が長いようですが本当は
ものすごく短気なんです。でも、やさしい面
も持っています。ありふれていますけど……。
私は口が悪くて、思ったことをズバリ言いま

電話で失礼

9月21日～27日 環境衛生週間

9月21日から27日まで環境衛生週間です。生活の向上につれて家庭から出されるごみの量は増大しています。また、ごみの種類も増え、捨てればいい、燃やせばいい——と単純に考えられなくなりました。

さらに、ごみの廃棄は食中毒や伝染病の発生と無関係ではありません。

みんなでなくそう、むだなご

み。みなさんとともに、ごみの処理などについて考え、快適な生活環境づくりを進めていこうというのが、この環境衛生週間のはじまりです。

動物を飼うなら 最後まで責任を

9月20日から26日までの1週間は「動物愛護週間」です。

ペットブーム、単にブームだからといって飼われたのでは、たまったものではないでしょう。珍しい、かわいいという単純な

動機で動物を飼おうとする態度は自戒したいものです。

年間50万匹、これは全国の保健所に引き取られる犬の数です。これらのほとんどは、鳴き声がうるさい、大きくなったら乱暴になった、などの理由で飼い主から手放された犬です。生命の尊さを知る、生き物に対する思いやりの気持ちが芽生える、犬や猫など動物とつき合うことでわたしたちの情操は豊かになっています。一度飼ったら死ぬまで家族の一員、という自覚をもって、どうか「わたしたちを可愛いがってください」。



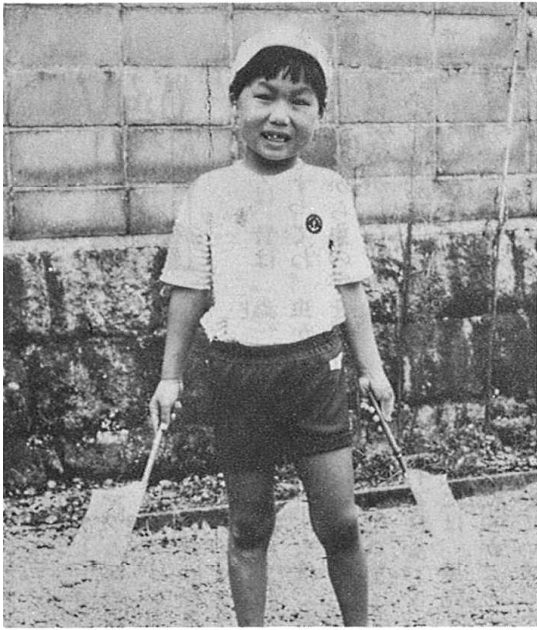
新団長の
松野氏

七月三十一日をもって退任された鷹野勉氏に変わり、新団長に松野芳雄氏が選任されました。前団長の鷹野氏は、二十二年十月に第二分団長に、四十三年四月には副団長に、四年後の五月には団長に選任され、団長として十一年二ヶ月、消防生活三十五年十ヶ月という長い間、消防においてご活躍されたことに深く敬意を表します。



退任した
鷹野氏

消防団長に松野芳雄氏



杉本 充寛くん (S52年10月3日生)
(丸蔵・杉本高敏さんの長男)

親いわく、自然放任主義。やりたいことは最後までやらせます。おかげで責任感は一倍感強し。ミッチちゃん、お姉ちゃんと仲良く遊んでくださいと母の声。

とにかく体も心もやさしいジンくん。ただいま剣道に夢中とのこと。納豆のようにねばり強さも、お母さんも今のまま育てほしいと、願いの甘さもチラホラ。

合谷 仁くん (S52年5月4日生)
(栃原・合谷忠雄さんの次男)



イ

夕

ズ

ラ

ぞ

か

り

すけど、うちの人に負けなくらいやさしいところもあると思っています。(とチョットひかえめに返事が返ってきました。)
①子どもさんは。
②小六の娘、小四の娘の二人です。上の子は、体ばっかし大きくて、中味が…(と言っではみても、本当はかわいみみたいですね。)
下の子は、今でも小一の時の担任の先生と文通するぐらい人なつっこい子です。
③ご主人へ一言。
④仕事については、別に言うことはありませんが、ちょっとひかえめだからもう少し積極的に物事にアタックしてほしいですね。

大部分の家庭では、子供の写真を撮るのは父親の仕事となっています。幼い子供の動作や表情は本当にかわいいものです。

カメラはほとんどの家庭に普及していますから、機会をみて、できるだけたくさん子供の写真を撮ってほしいと思います。それも、よそいきの顔をして並んでいる記念写真的なものだけでなく、泣いているところ、昼寝をしているところ、お風呂に入っているところなど、子供の生活のいろいろな場面のスナップが望ましいと思います。歩き始めたころの後ろ姿などもかわいいものですし、子供のおもちゃのしまっている場所や、よく遊んでいた部屋などもフィルムに納めておくことも大切です。自宅付近の様子も5年過ぎ、10年たつころには一変してしまいます。子供の幼いときの表情が二度と撮れないように、これらも残しておきたいひとつです。

子供の写真を張ったアルバムには日付や場所、短かい感想を書き加えておきましょう。親自身によって書かれたその短い文章を何年か後に子供が見ると、親に愛されていたという実感が幼児期の記憶とともによみがえってくるのです。

父と子



「虫という字は、昔は『蟲』と書いたんですってね。虫がいったばいいたから虫の字を三つも書いたのかしら」と、ある小学生が言ったそうです。もう忘れかけている古い字ですが、なるほど虫がにぎやかに鳴いているようでもあり、ウジヤウジヤと

蠢(うごめ)いているように感じてもあります。チンチンと鉦(かね)をたたくように鳴くカネタタキ。ガチャガチャと馬がくつわを鳴らすような音をたてるクツワムシ。ウマオイは、スイツ

チョという音が、馬をしかる時に舌うちする音と似ているからこの名があるとか。コオロギは『肩させ裾(すそ)させ』と鳴いて秋の深まりを知らせているのだとも言います。スズムシとマツムシの名は、平安時代には、今と反対だっ

秋の虫

とか。確かに、チンチロリンというマツムシの音は鈴みたいですし、リーンリンというスズムシの音は松風を思わせますから、反対の方が良かったのかもしれない。風流な日本人は、昔から虫を愛していました。中世京都の嵯峨野辺りでは『虫聞き』が年中行事になっていたとか。江戸時代には、虫売りが、格子の屋台に虫かごを下げて町を売り歩いていました。今、デ

パートの金魚売り場辺りで、スズムシ、マツムシ、クツワムシなどを売っていますが虫売りは昔からあったのです。寛政年間(一七八九〜一八〇一)には虫屋が人工飼育し



ていたとも言われます。虫の音を愛(め)でる日本人の優雅な心をいつまでも失いたくないものです。

住宅統計に協力を

5年に1回実施される「住宅統計調査」が10月1日、全国一斉におこなわれます。

この調査は住宅の国勢調査といわれるもので、皆さん方の住宅や世帯の構成など、40数項目について調査されます。その結果は、これからの住宅政策を進めるうえでの基礎資料となります。調査した事柄は、統計を作るためだけに使われますので、調査員等が調査内容を他に漏らしたりすることはありません。安心して、正しく申告されますようご協力ください。

金融機関週休2日

新聞、テレビなどで、すでにご承知のように郵便局、農協、銀行などの金融機関が、8月から毎月第2土曜日を休業することになりました。

それにともない、役場内の農協派出所も、毎月第2土曜日は休日となりますので、公金の出し入れはできません。

役場内農協派出所の支払日が毎月10日、25日となっておりますが、もし10日、25日が土曜日の場合は、前日の9日、24日が支払日となりますので、皆さんのご協力方お願いいたします。

ご寄付お礼

●香典返し

- (中津江村社会福祉協議会へ)
- 佐藤 正様 30,000円
- 杉野秀夫様 20,000円
- (中津江村母子会へ)
- 佐藤 正様 10,000円
- (中津江村遺族会へ)
- 佐藤 正様 10,000円



雑記

九月十五日は敬老の日。国民の祝日と定められたのは昭和四十一年のことですが、いままではもう秋の行事のひとつとして俳句の季節になるほど親しまれていきます。この日は、多年にわたって社会に尽くしてきた老人を敬愛し、長寿を祝い、また、わたしたちすべてが自分の老後に関心をもつ日でもあります。

最近では老人のゲートボール熱が全国にひろまるなどスポーツも盛んになり、趣味や勉強に打ちこむ老人の姿も目立ちます。

ところが、敬老の日にはきまって老人の自殺者の話題が新聞にのります。一年間の自殺者の中で、もっとも多いのは六十五歳以上の高齢者で、全体の約四分の一を占めているといわれるのは、考えさせられる数字です。

敬老の日にあたり、あらためて「高齢化社会」のあり方について真剣に考えたものです。